

2. 出前が遅い

001A : マンズ オソイネ、ソバヤサンサ デンワシテミッカラネ。 [1]

まあ 遅いね、蕎麦屋さんに 電話してみるからね。

{受話器を取る音} {電話番号のボタンを押す音}

{受話器を取る音} {電話番号のボタンを押す音}

002 調 : リーン リーン。 [2]

リーン リーン。

003B : ハイ (A ア) ソバヤデゴザリスー。

はい (A あ) 蕎麦屋でございます。

004A : ア モシモシー。

あ もしもし。

005B : ハイ。

はい。

006A : アノー XノAデスー。

あの XのAです。

007B : アー イツモ ドーモネニ。

あー いつも どうもね。

008A : ハーイ。アレ サキホド タノンダ^ンダケント マダダベガー。

はい。あれ 先ほど 頼んだんだけど まだだろ^うか。

009B : ウーンー。イマネー、コーミンカンガラッサ (A ウン) デマエ タノマレデ

うーん。今ね、 公民館からさ (A うん) 出前 頼まれて

イッテダガラ カエッテキタラ スグニ アゲッカラ。

行っているから 帰ってきたら すぐに あげる [=届ける] から。

010A : ハー。オラエデモ オキヤクサンガ ホラ ジカンデカエルヒトナモンダガラ
はあ。うちでも お客さんが ほら 時間で帰る人なもんだから

(B アー) キーモメデネ。(B アー [3]) ハイ ナルベグ ホンデ

(B あー) 気がもめてね。(B あー) はい なるべく それで[は]

ハヤク タノムガラー。

早く 頼むから。

011B : ハイハイ。イツモ ドーモネー。

はいはい。いつも どうもね。

012A : ハイ オネガイシマスー。{受話器を置く音}

はい お願いします。 {受話器を置く音}

[1] マンズ オソイネ、ソバヤサンサ デンワシテミッカラネ。

ここは、AがBではなくAの家に来ている客に話しかける演技をしている部分である。

[2] 002 調 : リーン リーン。

調査者が電話の呼び鈴の音をまねて発話した。

[3] アー

この「アー」は軟口蓋の無声摩擦音のようである。